

平成30年度補助金対象新設機器の紹介

広島市の中小企業が抱えている技術的な課題に対応する機器・検査用機器の整備を図るため、(公財) JKA からの補助をうけて下記の機器を導入しました。

ご利用方法など、各機器の詳細については当センターまでお気軽にお問い合わせください。

赤外分光光度計

試料に赤外光を照射し、透過又は反射した光を測定する装置です。測定で得られる赤外吸収スペクトルは、物質の化学構造によって固有の形状を示します。この特徴を利用して、有機材料の化学構造の推定や、対照品の赤外吸収スペクトルを測定して比較したりすることで製品中の異物や不良原因物質の同定、製品評価等に幅広く用いることができます。

[型式]

日本分光(株) FT/IR-6600FV (本体部) IRT-5200 (顕微鏡部)

[仕様]

○本体部

- ・検出器 (測定波数範囲)
 - DLATGS 検出器 ($680\text{ cm}^{-1}\sim 30\text{ cm}^{-1}$)
 - DLATGS 検出器 ($7800\text{ cm}^{-1}\sim 350\text{ cm}^{-1}$)
 - InGaAs 検出器 ($12000\text{ cm}^{-1}\sim 4000\text{ cm}^{-1}$)
- ・真空対応
- ・主な附属品

近赤外用拡散反射測定装置

1回反射 ATR 測定装置 (ゲルマニウム、ダイヤモンド)

○顕微鏡部

- ・検出器 (測定波数範囲)
 - MCT 検出器 ($7800\text{ cm}^{-1}\sim 600\text{ cm}^{-1}$)
- ・主な附属品
 - ATR 測定装置 (ゲルマニウム、ダイヤモンド)

